

コミュニティバスの路線の一部を変更

4月7日（月）から「べにばな号」のバス停の追加、位置変更

市は、4月7日（月）から、コミュニティバス「べにばな号」の路線の一部を変更します。

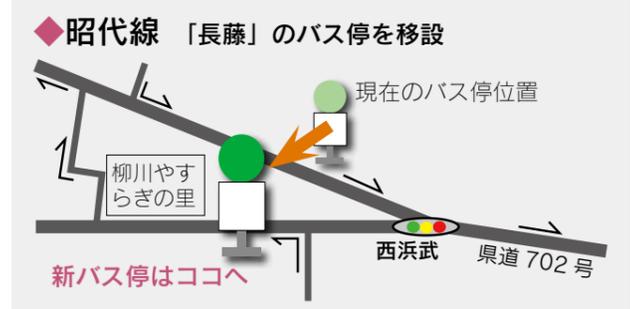
べにばな号は、主に路線バスなどの公共交通機関がない地域で運行しており、地域住民の日常の「足」として、1回の利用につき100円（小学生未満無料）で運行。特に、高齢者から通院や買い物などに利用されています。

今回は、3か所でバス停の追加、1か所でバス停の位置を変更。そのため、一部のバス停で到着時刻が変わります。今後もより便利になるように運行内容を見直していきますので、市企画課までご意見をお寄せください。

■出張出前講座

「べにばな号のバス停はどこにあるのか」「何時にバス停へやってくるのか」など、べにばな号の使い方などについて地域住民の皆さんの疑問にお答えする出張出前講座を行っています。地域の会合があるときなど、市から出向いて説明しますので、ぜひ活用してください。

問い合わせは、同課企画係（☎77・8423）まで。



柳川をPRする特集記事を旅行雑誌に掲載

「るるぶ九州」で全国に水郷柳川の魅力を発信



▲▶特集記事は、市内の観光情報が満載

市は、旅行ガイドブック「るるぶ九州」最新号に、柳川の観光情報の特集記事を掲載しています。

23年3月に九州新幹線が全線開通した効果もあり、九州外から柳川への観光客は増加傾向。しかし、依然として九州外での柳川の認知度は低い状況です。

そこで、旅行ガイドブックの中でも認知度が高い「るるぶ九州」に柳川の魅力を掲載して、九州内はもちろん、関東や関西に情報を発信しようと作成しました。

特集記事には、川下りや季節のイベント、観光スポットなどが掲載。発行部数は約15万部（有料）で、全国の書店で販売されます。別に無料の別冊版を、市内外の観光案内所や宿泊施設などに設置して柳川をPRします。

問い合わせは、市観光課観光企画係（☎77・8564）へ。

公 共下水道の事業計画区域を新たに65ha拡大

平成26年度から現地測量や調査設計などを順次開始

河川や水路などの水質保全や生活環境の改善を目的に進めている公共下水道事業。市は、来年度から公共下水道を整備する事業計画区域を新たに広げます。

■下水道は全体計画区域の47%で整備済み

公共下水道事業は、昭和56年度から始め、平成14年度に供用開始しました。公共下水道の本管や公共ますなどの整備を進めるために設定した「事業計画区域」では、約87%の区域で整備が完了。これは、市内で公共下水道を整備する予定の「全体計画区域」706haのうち、24年度末時点で330ha、47%の区域で整備が済んでいることになります。

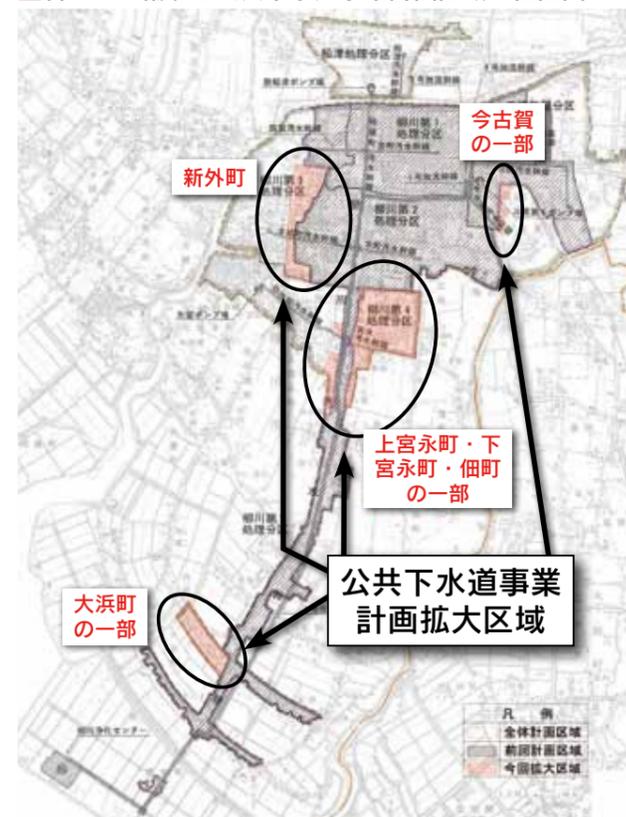
■下水道を整備する事業計画区域を新たに65ha拡大

来年度から順次整備を行う事業計画区域は、65haを予定しています（右図の赤色の区域）。公共下水道の整備を早く取り掛かることができるように、3月末までに諸手続きを整え、その後、現地を測量したり、調査設計などを行ったりして、公共下水道を整備する工事を行っていく予定です。

なお、事業計画区域に入っている地域では、4月から市の合併処理浄化槽補助金の交付対象となりません。皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

問い合わせは、市下水道課（☎77・8583）まで。

■新たに整備する公共下水道事業計画区域の位置図



市 公式サイトが全面的にリニューアル

公式サイトアドレスはそのまま、3月17日（月）、正午公開予定

▼▶トップページや魅力・観光ページなどを一新（画像は開発中のものです）



市は、インターネットを通じて行政情報や観光情報などをお知らせする市公式サイトを一新します。

現在の市公式サイトは、平成18年から約8年間運用。利用者にとってより使いやすく、柳川らしいサイトにしようと、デザイン、機能など全面的に見直しを図りました。3月17日（月）、正午に公開予定です。

新しい市公式サイトは、4つだった主な入り口を7つに細分化。探したい情報へたどり着きやすいようにしました。また、外国語への変換や、スマートフォンなどのモバイル端末からの利用にも対応。災害が発生した場合は、緊急時用のトップページに切り替わり、災害情報などに限定して表示するようにします。新しい市公式サイトのアドレスは「http://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/」で変わりません。公開をお楽しみに。

問い合わせは、市企画課広報広聴係（☎77・8425）へ。